

〔別添 - 4〕 ETC時間帯割引のご利用に伴う交通の変化

- 東北道、関越道、常磐道などの上り方面では、深夜割引や早朝夜間割引が適用される深夜・早朝(22時～翌6時)の交通量が、割引導入前¹の平成16年同期と比較して約1割増加しており、割引時間帯の利用促進が図られました。この割引制度の導入により、交通量の多い時間帯を通過する交通を交通量の少ない時間帯にシフトさせる交通分散が図られました。
- 今回お盆期間中に東北道上り白石IC付近では、交通量の多い日中時間帯の交通量が減少し、交通量の少ない早朝夜間の交通量が増加したため、渋滞量が約33%減少した日がありました。

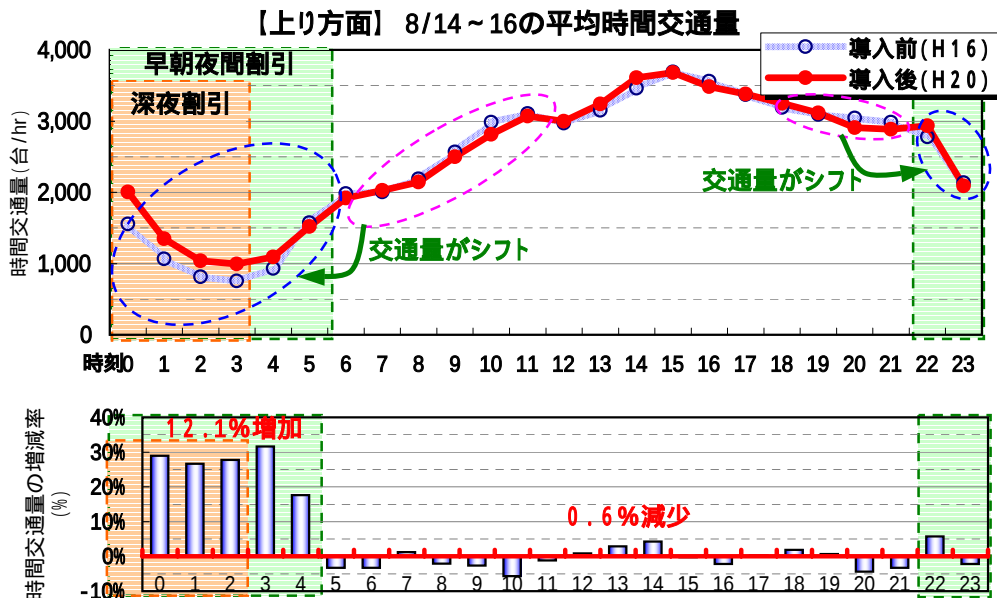
1 早朝夜間割引が平成17年1月からの導入のため、比較は導入前の平成16年とした

ETC時間帯割引導入前後の交通状況

上り方面の交通の変化、渋滞状況 〔交通量のピーク期間 8/15(金)～17(日)のデータ〕

区 分	割引導入前 (H16)	割引導入後 (H20)	増減
日交通量	58.9 千台	60.0 千台	+1.9%
深夜、早朝夜間割引時間帯の交通量(22:00～翌6:00)	11.6 千台	13.0 千台	+12.1%
割引無し時間帯の交通量(6:00～22:00)	47.3 千台	47.0 千台	▲0.6%
割引無し時間帯の午前交通量(6:00～12:00)	14.8 千台	14.5 千台	▲2.7%
割引無し時間帯の午後交通量(12:00～22:00)	32.5 千台	32.5 千台	±0%

ETC時間帯割引導入後の交通変化 〔導入前(H20)と導入後(H16)の比較〕



対象区間: 東北道 浦和IC～岩槻IC(上り) 常磐道 三郷JCT～流山IC(上り)
 関越道 大泉JCT～所沢IC(上り) [IC:インターチェンジ、JCT:ジャンクション]

対象期間: 上り方面の交通量のピーク期間

上り方面: 導入後(H20) 8/15(金)～8/17(日)の3日間

導入前(H16) 8/14(土)～8/16(月)の3日間

交通量: トラカンデータによる速報値

8月16日(土) 東北道上り 白石IC付近での渋滞緩和効果

- 当日は、深夜割引や早朝夜間割引が適用される深夜・早朝(22時～翌6時)の交通量が、割引導入前の平成15年同期と比較して約15%割増加し、割引無し時間帯の交通量が約7%減少する交通シフトが図られました。
- また割引導入前後を比較して、東北道上り白石IC付近の渋滞時間が約36%減少し、それに伴い渋滞量が約33%減少しました。

上り方面の交通の変化、渋滞状況 (比較日 8/16(土)のデータ)

区 分	割引導入前 (H15.8.16)	割引導入後 (H20.8.16)	増減
日交通量	44.5 千台	43.3 千台	▲2.7%
深夜、早朝夜間割引時間帯の交通量(22:00～翌6:00)	9.3 千台	10.7 千台	+15.1%
割引無し時間帯の交通量(6:00～22:00)	35.2 千台	32.6 千台	▲7.4%
対策箇所(白石IC付近)の渋滞量 ¹	147.7km・hr	99.3km・hr	▲32.8%
渋滞時間 ²	10.9時間	7.0時間	▲35.8%

¹ 渋滞量は、渋滞規模を表す指標(渋滞長×時間)

² 渋滞時間は、時速40km以下で走行する車列が1km以上かつ15分以上継続した交通状況の継続時間

ETC時間帯割引導入後の交通変化 (導入前(H20)と導入後(H15)の比較)

平成20年8月16日(土) 東北道上り(白石IC付近)

